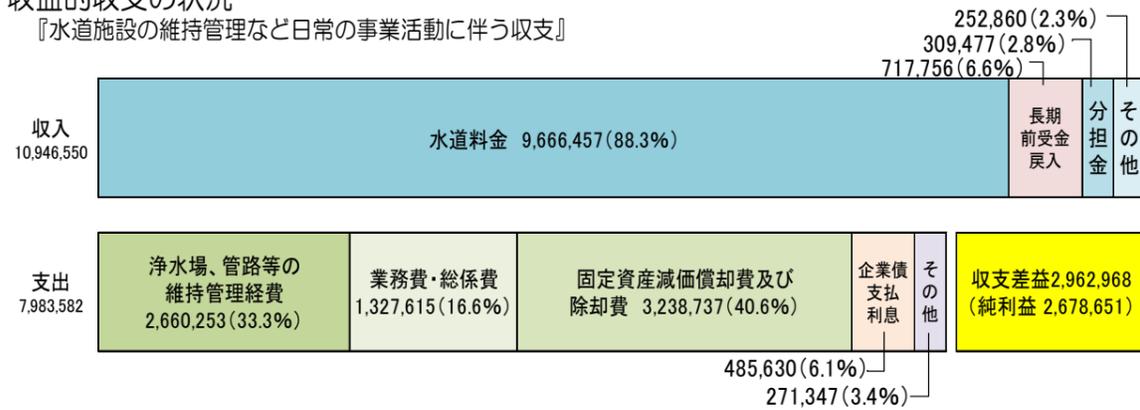


平成30年度 水道事業会計決算の概要

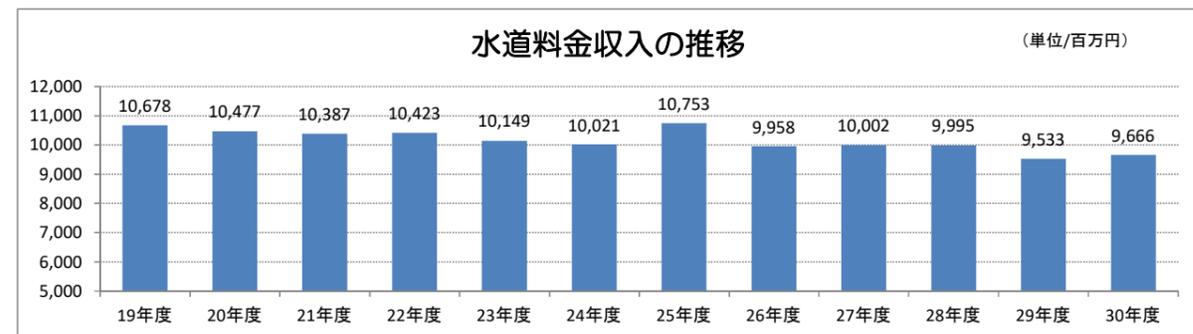
《金額の単位は千円》

収益的収支の状況

『水道施設の維持管理など日常の事業活動に伴う収支』

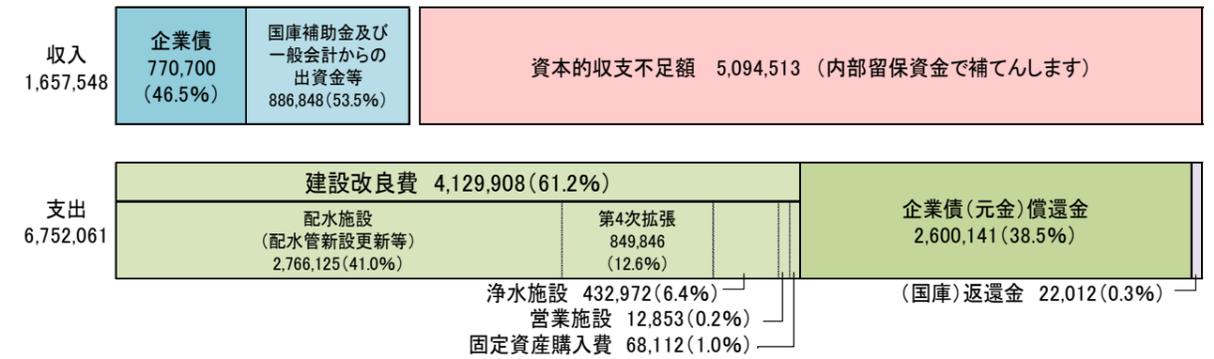


収支区分	平成30年度	平成29年度	増減額	前年比 (%)	説明
収入（事業収益）	10,946,550	10,916,161	30,389	0.3	(税抜)30年度 10,196,826
①水道料金	9,666,457	9,533,137	133,320	1.4	大口使用者特別料金分 +46,345
②長期前受金戻入	717,756	745,191	△ 27,435	△ 3.7	補助金等固定資産取得財源の減価償却見合い分の収益化額（現金収入を伴わないため補てん財源とはならない）
③分担金	309,477	308,850	627	0.2	
④その他	252,860	328,983	△ 76,123	△ 23.1	下水道取扱事務手数料 △204,549 下水道共通経費負担金 +136,166
支出（事業費）	7,983,582	7,942,708	40,874	0.5	(税抜)30年度 7,518,175
①原水及び浄水費	1,404,682	1,304,342	100,340	7.7	委託料 + 5,964 動力費 +28,346 薬品費 +19,548 請負工事費 +40,746
②配水及び給水費	1,255,571	1,242,401	13,170	1.1	人件費 +10,266 路面復旧費 +11,758 動力費 +13,948 請負工事費 △30,938
③業務費	671,030	682,676	△ 11,646	△ 1.7	人件費 △29,423 通信運搬費 + 2,735 委託料 +13,674
④総係費	656,585	705,503	△ 48,918	△ 6.9	人件費 △31,254 印刷製本費 △8,080 請負工事費△13,086 負担金 +7,198
うち①～④の 人件費	1,137,174	1,186,156	△ 48,982	△ 4.1	【3条職員数】 正規112人(△8)、再任用26人(△7)、嘱託7人(+1)
⑤固定資産減価償却費及び除却費	3,238,737	3,198,511	40,226	1.3	減価償却費 +85,631 資産減耗費 △45,405
⑥企業債支払利息	485,630	559,068	△ 73,438	△ 13.1	企業債残高の減少に伴うもの
⑦その他	271,347	250,207	21,140	8.4	消費税及び地方消費税 +21,250 特別損失（固定資産売却損） △ 4,583
純利益（消費税抜き）	2,678,651	2,663,967	14,684	0.6	30年度（税抜収入10,196,826－税抜支出7,518,175＝2,678,651）



資本的収支の状況

『水道施設の建設・改良などの投資にかかる収支』



収支区分	平成30年度	平成29年度	増減額	前年比 (%)	説明
収入	1,657,548	1,891,831	△ 234,283	△ 12.4	
①企業債	770,700	1,000,000	△ 229,300	△ 22.9	建設改良費の減によるもの
②固定資産売却代金	10,911	7,398	3,513	47.5	遊休資産（土地）の売却代金
③工事負担金	130,586	104,532	26,054	24.9	配水管移設費負担金等の増
④補助金・出資金	745,351	779,901	△ 34,550	△ 4.4	・大分川ダム建設工事負担金（補助金） △15,898 ・大分川ダム建設工事負担金（出資金） △15,898
支出	6,752,061	7,109,647	△ 357,586	△ 5.0	
①建設改良費	4,129,908	4,519,503	△ 389,595	△ 8.6	・浄水施設工事 △289,671 ・庁舎関連工事 △126,847 ・大分川ダム建設工事負担金 △47,695
うち①の人件費	281,512	275,811	5,701	2.1	【4条職員数】 正規32人(△2)、再任用2人(+2)
②企業債償還金	2,600,141	2,590,144	9,997	0.4	
③返還金	22,012	0	22,012	—	国庫補助金の消費税仕入控除税額確定に伴う返還
資本的収支不足額（△）	△ 5,094,513	△ 5,217,816	△ 123,303	△ 2.4	

補てんの状況

	平成30年度	平成29年度	増減
① 前年度からの繰越額	2,783,573	2,708,034	75,539
② 損益勘定留保資金	2,524,704	2,319,901	204,803
③ 当年度分消費税等資本的収支調整額	284,242	309,487	△ 25,245
④ 当年度内部留保資金（①+②+③）	5,592,519	5,337,422	255,097
⑤ 資本的収支不足額（△）	△ 5,094,513	△ 5,217,816	△ 123,303
⑥ 当年度内部留保資金補てん残額（④+⑤）	498,006	119,606	378,400
⑦ 当年度純利益	2,678,651	2,663,967	14,684
⑧ 翌年度繰越額（⑥+⑦）	3,176,657	2,783,573	393,084

経営状況

1 給水状況

項目	平成30年度	平成29年度	増減	説明
給水世帯 (世帯)	220,375	218,275	2,100	行政人口の減少に伴う給水人口の減
給水人口 (人)	475,595	475,916	△ 321	[行政区域内世帯 221,469世帯 (2,079世帯増) 行政区域内人口 477,858人 (364人減)]
普及率 (%)	99.53	99.52	0.01	給水人口 475,595人 / 行政区域内人口 477,858人
年間給水量 (m ³)	50,746,554	50,671,995	74,559	1日平均給水量 H30: 139.032m ³ H29: 138.827m ³
年間有収水量 (m ³)	45,040,266	44,379,970	660,296	1日平均有収水量H30: 123.398m ³ H29: 121.589m ³
有収率 (%)	88.76	87.58	1.18	年間有収水量/年間給水量

2 主な建設改良事業の実施状況

*数値は人件費を除いたもの (単位/千円)

○配水施設整備事業 2,766,125 (公共事業関連工事、給水不良解消事業、上水道未整備地区解消事業 等)

○第4次拡張事業 849,846 (大分川ダム建設工事負担金 等)

*大分川ダム建設の概要

・工期 昭和53年度から令和元年度まで

(大分市は昭和63年度から参画)

・総事業費 約1,036億円…大分市の負担率18.1%

(内訳: 国庫補助金1/3、市長部局1/3、上下水道局1/3)

・大分市の取水量 35,000m³/日

(暫定豊水水利権23,000m³/日)

○浄水施設整備事業 432,972 (古国府浄水場コントロール設備更新工事 等)

3 財務状況

(単位/千円)

項目	平成30年度	平成29年度	増減額	説明
純利益(消費税抜き)	2,678,651	2,663,967	14,684	
引当金残高	4,087,511	4,100,141	△ 12,630	
退職給付引当金	1,022,077	1,059,193	△ 37,116	職員の退職手当の支給に備えるため、当該事業年度末における退職手当支給額に相当する金額を計上
賞与引当金	130,000	91,000	39,000	令和元年度6月期末・勤勉手当のうち、平成30年度の負担に属する支給対象期間相当分(12~3月)を計上
貸倒引当金	132,327	146,841	△ 14,514	過去3か年の平均貸倒率を当年度期末未収金残高に乗じたもの
修繕引当金	2,803,107	2,803,107	0	
内部留保資金繰越額	3,176,657	2,783,573	393,084	
企業債残高	20,971,867	22,801,308	△ 1,829,441	借入額: 770,000 償還額: 2,600,141

・建設改良積立金

建設改良費に充てるため、当年度純利益の一部を翌年9月に議会の議決を経て積立する積立金

(単位/千円)

項目	平成30年度	令和元年度	積立額合計	目標
積立額	400,000	800,000	1,200,000	令和10年度に55億円

4 経営指標

(1) 料金水準について

項目		大分市				増減	中核市49市 2企業団平均 (H30)	説明
		H30	(順位) 51	H29	(順位) 46			
給水原価(A)	(円/m ³)	150.77	22	152.16	23	△ 1.39	159.45	(経常費用-受託工事費-その他営業費用-長期前受金戻入) ÷ 年間有収水量【有収水量1m ³ を供給するために要した費用】
供給単価(B)	(円/m ³)	198.72	41	198.90	38	△ 0.18	174.41	給水収益 ÷ 年間有収水量 【有収水量1m ³ あたりの販売単価】
回収率(B/A)	(%)	131.80	2	130.72	1	1.08	109.95	供給単価 ÷ 給水原価 × 100
1ヶ月10m ³ あたり家庭用料金	(円)	1,728	35	1,728	34	0.00	1,566	口径20mm (税込額)
1ヶ月20m ³ あたり家庭用料金	(円)	3,294	36	3,294	35	0.00	3,097	口径20mm (税込額)

(2) 収益性・安定性について

項目		大分市				増減	中核市49市 2企業団平均 (H30)	説明
		H30	(順位) 51	H29	(順位) 46			
総収支比率	(%)	135.63	2	135.48	2	0.15	116.12	(総収益/総費用) 100%超の場合は利益、100%未満は損失となる
経常収支比率	(%)	135.76	2	135.30	2	0.46	116.14	(営業収益+営業外収益) / (営業費用+営業外費用) 経常費用がどの程度経常収益によって賄われているかを示す